

ますだマス 都市マス

こんにちは。ぼくは社会人一年生の増田トシです。ある日のこと、ぼくは久しぶりに高校時代の恩師のマスダ先生を訪ねたんだ。先生の家には、市役所の小原さんが来ていて、話をしているうちに、なぜか、これから創られる「留萌市都市計画マスタープラン」の市民ワークショップに参加することになったんだ。

トシくん、都市マスの世界へ

トシ 先生こんにちは！
先生 おお、どうしたトシ、元気だったか？
トシ はい。今日は相談があつてきたんですけど、お客さんですか？
先生 ああ、わたしの友人の……
トシ じゃあ、また今度にします。
先生 ちよつと待ってくれ。小原くん、トシみたいな若者の考え方を聴くのも今後のためにいいんじゃないかな。

小原 そうですね。でも、彼は「都市マス」に興味があるでしょうか。
先生 大丈夫さ。トシは好奇心旺盛だから、この手の話には興味を示すはずだよ。
トシ ??? (なんだ、いやな予感)
先生 トシ、時間は大丈夫か。
トシ ええ、大丈夫ですけど…… (もう、相変わらず強引だなあ)。
先生 じゃあ決まりだ。紹介するよ、わたしの友人で市役所に勤めている小原くんだ。
小原 こんにちは。
トシ こ、こんにちは。

都市計画マスタープラン (都市マス)ってなに？

先生 じゃあ、さつそく本題に入ろう。実は、今度、市役所で『都市計画マスタープラン』というのを創るんだよ。
トシ 都市計画マスタープラン？
小原 都市計画マスタープランっていうのは、平成4年に都市計画法の改正によって創設され……
トシ ??? (なんだ、なんだ)
先生 おいおい小原くん、いきなりそんな難しい話してもわからんぞ。もつとわかりやすく説明してやれよ。
小原 つい役所のくせが出て。トシくん申し訳なかったね。けど、どうもトシくんにわかるように説明するのは難しいですね。先生から説明してくれませんか。
先生 全く、しょうが無いなあ。

「都市計画マスタープラン」つまり「都市マス」とは、ひとこと言えば「みんなが留萌のまちの将来像を描く」ということだ。
例えば、都市(まち)には、住宅や商店や工場などの建物がある。道路や公園、下水道、留萌の場合、港もある。そういうまちを形作る要素を、市民の生活や企業の営みに合うように、上手に配置してやる必要がある。だろ。
住宅地域や商業地域、工業地域の位置付けを、留萌全体の将来的な土地利用の中で考える。そして、それらを結びつける道

路やゆとりを生み出す公園などの配置を考える。

そういう、総合的なまちづくり計画が「都市マス」なんだ。

トシ 総合的なまちづくりですか。
先生 みんな、自分たちの住んでいるまちに、ゆとりや豊さを実感したいと思ってる。そのためには、道路が狭いとか、住宅の近くに工場があつてうるさいとか、まちの現状や課題をしっかり把握しなければならぬし、海・夕陽・港・雪などそのまちの個性や特徴を活かしていく方法を考えなければならぬ。
そこで計画を創る上で重要になってくるのが「市民参加」なんだ。

市民参加のまちづくりって どうすればいいの??

トシ 「市民参加」って最近よく聞きますね。先生 市民参加にはいろいろ方法があつて、まちづくりのいろんな分野で重要視されているから、将来的には、当たり前になつていくだろうなあ。
トシ へえ。
先生 市民参加でポイントになるのが、市民と市が一緒になつて物事に取り組んでいくところなんだ。
トシ 「市民と市が一緒になつて取り組む」。小原 「いつまでも住みつづけたらいい」このまちを良くしたい」という思いは市民共

登場人物



増田 トシ (18)
トシくんは、この春、高校を卒業したばかりの18歳。現在、社会人一年生。



マスダ 先生 (58)
マスダ先生は、トシ君の高校時代の先生。まちづくりにとても詳しい。現在58歳。

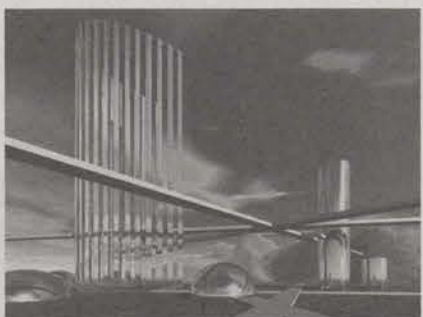


小原 寿政 (38)
小原さんは、マスダ先生の友人。市役所で都市マスを担当している。

都市マスの創設

21世紀を目前に、高度情報通信の発達、経済のグローバル化や金融自由化、少子・高齢化、景気の低迷などにより、産業構造や社会構造、ライフスタイルの変化が急速に進み、わたしたちのとりまく環境も大きく変わってきています。

こうした変化やそれに伴う市民の多様な価値観やニーズに適切に対応し、わたしたちがゆとりや豊さを実感できる居住の場として、个性的で快適な都市づくりを進めて行かればいけません。



そのためには、市民の理解と参加によって、望ましい都市像を明らかにし、その都市像を目標に、具体的な都市計画(土地利用、道路・公園などの整備、市街地開発など)を広い視野から、バランスよく進めていくことが大切です。そこで、平成4年の都市計画法の改正により、都市計画マスタープラン(都市計画に関する基本的な方針)が創設されました。

これにより、都市計画区域(都市計画法によるさまざまな規制を受ける区域。留萌市は昭和9年に設定)を有する市町村は、各々「都市マス」を策定する事が義務となりました。

